

KANTOU

かんとう



■ 関東商組新年会
■ 全原連新年会
■ 支部だより—群馬県支部
神奈川県支部

春号

全国小中学生 紙リサイクルコンテスト 2024

(主催 公益財団法人古紙再生促進センター)



文部科学大臣賞

山形大学附属小学校 6年

さとう あやめ
佐藤 綾芽

広がれ!! つながれ!! 紙のリサイクル



巻頭言

山積する問題に特效薬を

このところニュースで毎日トランプ大統領のご尊顔を拝し、驚きと失望の毎日を送っております。

鉄鋼やアルミニウムに対する税率の上昇（25%）から始まり、3月4日にはカナダ、メキシコに対しては25%、中国には10%上乗せて20%関税をかけると決定しています。4月には相手国に平等な貿易条件を求め、高関税を課す国に同率の関税を課す「相互関税」を実施することが発表されております。

外交問題では、「中東のガザからパレスチナ人は移住させ、ガザはアメリカが所有する。」「デンマーク領のグリーンランドも手に入れる。」「パナマ運河の管理権を中国から取り戻す（3月6日には実際に米国企業が買収決定）」等冗談だから本気なのかわからないような発言に翻弄されております。2月28日に行われたゼレンスキー大統領との鉱物協定に関わる会談では、公開放送の面前で激しいやり取りをほとんどの方が見られたのではないのでしょうか？

「アメリカファースト」。以前のアメリカとは変わってしまったと認識を変えなければならないと思うと同時にとてつもない変化が日本にも迫ってくると感じます。万が一アメリカが世界の工場になるようなことがあれば余剰古紙はアメリカに輸出されるかも？



関東製紙原料直納商工組合
理事長

藤川 達郎

話は変わりますが日本国内の出生数が発表されました。72万988人で9年連続減少しています。10年前の出生数は100.3万人ですから約3割減少していることとなります。また72万のうち2～3万人は外国人の出生数とされています。日本人に限ると70万人を割っているとも。更に死亡数は161万人（4年連続で過去最大）で出生数と死亡数の差は約90万人となります。なんと90万人もの人口が減少しているのです。

各支部長にお願いしてまいりました休日問題の方向性が3月中にまとまります。やれることからやると申し上げて参りましたが、スピードを上げる必要性をひしひしと感じます。また大手企業の大卒の初任給が30万円超えのニュースはあちらこちらで聞こえ、連合も春闘における賃上げ要求率は6%と高い水準となっております。賃上げは必要不可欠と思います。

年明け以降古紙の需給状況が製品の不需要期と相まって一部地域では緩んできたように思います。サステナブルな経営を目指す為にも車間距離の確保に努めましょう。

関東商組 理事会報告

令和6年度 第8回 理事会報告

開催日時 令和6年12月23日(月)
午後3時～4時30分
開催場所 組合会議室
出席者数 理事23名 監事2名

議事要旨

1. 古紙持ち去り関係
 - (1) GPS 追跡調査実施状況
正規ルート1件(東京都青梅市12月4日)
2. 各支部市況報告
(記載省略)
3. 持続可能な経営の推進に関する取り組み状況
12月16日 日資連にアンケート調査結果を説明した。回収業界としては賛成というヤードに関する説明資料はオープンでいいと伝えることになった。
支部における議論のポイントと方向性を確認した。今年度末までに取りまとめる。
4. 全原連からの検討依頼事項
 - (1) 手形等のサイトの短縮に関する対応

期日指定現金も含め全原連から製紙連に自主行動計画の周知徹底を求める文書を出すべき。

(2) 全原連 賦課金の見直し

全原連正副理事長・委員長合同会議に一任(事業計画と一体で判断すべき)負担の公正の定義が必要。

(3) 古紙輸出に係る原産地証明の扱い

アウトサイダーの位置づけ、J-Brand との関係などさらに詳細な情報が必要。

(4) 自然災害 被害状況調べ

当組合管内では特に報告するケースはない。

5. 各会議報告

(1) 総務財務委員会(12/16開催)

11月末現在の収支状況の報告があった事務局 年末・年始休暇を12/28～1/5とする

緊急の場合は専務理事の携帯に連絡する

(2) 正副理事長・委員長合同会議(12/16開催)

かんとう No.228 目次

編集人の後記	22	三紙会TWEET	21	追悼 須長利行氏	20	群馬県支部 神奈川県支部	18	支部だより	13	全原連 新年会	8	関東商組 新年会	5	三紙会定例会報告	2	理事会報告	1	巻頭言
--------	----	----------	----	----------	----	-----------------	----	-------	----	---------	---	----------	---	----------	---	-------	---	-----



表紙写真

日本一多い桜は「ソメイヨシノ」です。淡い色合いと7日ほどで花弁が散っていく様子が日本人の感性にピッタリ。

染井吉野は交配した人造花。日本中、亜熱帯の沖縄以外で咲き誇ります。「桜守」が樹齢の60年を120年にも伸ばします。

小田原城内の樹齢100年弱の染井吉野。
渉外広報・IT委員会 相談役 須長利行

6. 近代化推進委員会報告

(1) 経営革新委員会 (12/9 開催)

段ボール原紙需給速報、古紙輸出実績の資料を基に意見交換を行った。

古紙 R アドバイザー及び品質管理責任者の申込・更新申請等の運用構築。

2024 年十大ニュースを選定した。

(2) 安全防災委員会

リチウムイオン電池による事故多発に関する注意喚起。

全原連 安全防災特別委員会 仮称「安全サポーター」の立ち上げを企画している。

(3) 需給委員会 (11/25 開催)

12 月の段ボール見積もり合わせはベトナム向けで成立。

国内外の市況報告を行った。

海外視察は来年 9 ～ 11 月実施予定

(4) 三紙会 (2024 年 11 月度確定値)

	前月比 (%)	前年比 (%)
段ボール	97.5	101.6
新聞	100.4	95.4
雑誌	100.7	99.6

(5) 渉外広報・IT 委員会

① かんとう編集部会 (12 月 5 日開催)

227 号 (2025.1 発行予定) の校正。

228 号 (2025.4 発行予定) の企画。

② IT 活用部会 (12 月 5 日開催)

HP の検討・更新、研修・視察案。

各種統計資料

1. 関東商組 32 社古紙在庫月別報告書 (2024 年 11 月)

2. 財務貿易統計 古紙輸出まとめ (2024 年 10 月)

3. 日本製紙連合会 紙・板紙需給速報 (2024 年 10 月)

4. 日本製紙連合会 紙・板紙品種別生産・出荷・在庫高表 (2024 年 10・11 月)

◎次回開催予定 令和 7 年 2 月 21 日 (金)

1 月 休会

令和 6 年度 第 9 回 理事会議報告

開催日時 令和 7 年 2 月 21 日 (金)

午後 3 時～ 4 時 30 分

開催場所 組合会議室

出席者数 理事 19 名 監事 2 名

議事要旨

1. 古紙持ち去り関係

(1) GPS 追跡調査実施状況

正規ルート 2 件 (東京都青梅市 1 月 8 日 2 月 5 日)

(2) 令和 7 年度 GPS 追跡調査に関する方針
来年度も現状の運用方法により実施する。
自治体の協力意思を確認する。

2. 各支部市況報告

(記載省略)

3. ヤード営業日 / 営業時間に関する取組

支部ごとに協議し、3 月末までに取りまとめることになった。(取りまとめのための参考様式を示した。)

4. 組合員の法定脱退

(株)マンモスエコロジーが昨年 12 月末をもって三芳所沢センターを(株)坪野谷紙業に譲渡し、返本業務に特化するとの申し出があった。中小企業等協同組合法第 19 条第 1 項第 1 号に定める「組合員たる資格の喪失」に該当することから昨年 12 月末をもって脱退になった。

5. 支部長の交代

群馬県支部では協議の結果、海原健二支部長から(有)斉藤宏商店 斉藤彰さんに交代することになった。2 月 21 日の理事会に報告し、了承を得た。

理事職は引続き海原理事が務め、斉藤新支部長は理事会にオブザーバーとして出席する。

6. 各会議報告

(1) 総務財務委員会 (2/14 開催)

1 月末現在の収支状況の報告があった。

(2) 正副理事長・委員長合同会議 (2/14 開催)

7. 近代化推進委員会報告

(1) 経営革新委員会 (1/14・2/12 開催)

段ボール原紙需給速報、古紙輸出実績の資料を基に意見交換を行った。

古紙Rアドバイザーの運用のクラウド化に着手。

品質管理責任者、古紙適格事業所のも含め規則・運営方法を検討。

(2) 安全防災委員会

安全サポーターの立ち上げを2/28の全原連理事会に諮る。

(3) 需給委員会 (1/27 開催)

2月の段ボール見積もり合わせはベトナム向けで成立。

国内外の市況報告を行った。

海外視察について検討した。

(4) 三紙会 (2024 年 12 月度速報値)

	前月比(%)	前年比(%)
段ボール	110.5	101.1
新聞	108.9	96.8
雑誌	114.1	98.6

(5) 渉外広報・IT 委員会

「かんとう」編集状況の報告。

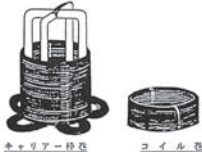
各種統計資料

1. 関東商組 32 社古紙在庫月別報告書
(2024 年 12 月・2025 年 1 月)
2. 財務貿易統計 古紙輸出まとめ (2024 年 11 月・12 月)
3. 日本製紙連合会 紙・板紙需給速報
(2024 年 12 月・2025 年 1 月)
4. 日本製紙連合会 紙・板紙品種別生産・出荷・在庫高表 (2024 年 12 月・2025 年 1 月)

次回開催予定

3 月 21 日 (金)

二十一世紀の環境を守る。
信頼のパートナー。
古紙用ベラー番線。



キャリヤー線 コイル線

豊かな環境を
ワンダフル21世紀

- ・最良の品質
- ・豊富な在庫
- ・万全なサービス



株式会社 櫻井

<http://www.kk-sakurai.com/>

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里4-13-12
TEL 03-3803-3511
FAX 03-3807-8153

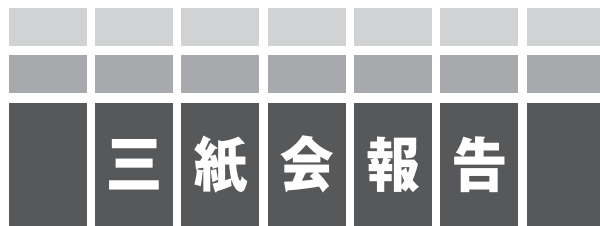
標準値	コイル 1巻	コイル 1巻	1+1T- 1巻	1+1T- 1巻
φ12 25%	50	100	500	1,000
φ10 32%	50	100	500	1,000
φ8 40%	50	100	500	1,000

ベラー番線

最良の品質・防錆OK
ートラブル、ロスが少ないー
50K・100K・500K・1000K

坂野興業株式会社

東京本社 TEL03-3718-7311 FAX03-3724-8170
浦安営業所 TEL0473-54-6531 FAX0473-51-5201
静岡営業所 TEL054-624-1101 FAX054-624-6704



令和6年度 12月 定例会

日 時：令和6年12月18日（水）
 15時30分～17時00分
 場 所：関東製紙原料直納商工組合 会議室
 幹 事：木ノ下 知宏・(株)須賀
 後藤 和則・(株)高岡
 報告者：後藤 和則・(株)高岡
 出席社：19社

【令和6年11月

裾物主要三品仕入実績報告（32社）】

〔段ボール〕 前月比 97.5% 前年比 101.6%
 〔新聞〕 前月比 100.4% 前年比 95.4%
 〔雑誌〕 前月比 100.7% 前年比 99.6%

【ブロック別仕入平均単価報告】

○各地区平均単価：段ボール…10.54円、新聞…
 13.41円、雑誌…5.21円

【各委員会活動報告】

●業務委員会：

（1）パルプ市況報告（10月積み対日価格）

〔NBKP〕 \$ 価格 880 前月比 +10
 〔LBKP〕 \$ 価格 665 前月比 ± 0

（2）上物古紙市況報告

〔全体の状況〕2024年1～10月の3品の仕入れ量は、前年同期比3.3%減となった。また、出荷量は同3.4%減、10月の在庫量は、6.9%減となっている。3品の仕入れ量は2017年以降7年連続で減少が続いており、今年も減少になると8年連続となる。段ボールは前年同期対比で0.7%減に留まっているが、新聞が同14.3%減、雑誌が同5.2%となっており、古紙の発生減少に歯止めが利かない状況。特に新聞は2015年以降で2ケタ減が複数回あり、今

年も2ケタ減が濃厚な状況。

〔家庭紙〕家庭紙原料の輸出において、年末年始の制約があることから国内還流が考えられるものの、年始の発生減少を予想して各メーカー古紙在庫積み増しに動いている状況。製品は補助金縮小などから来春に向けて値上げを模索するも、パルプ物の在庫過多からむしろ値下げ圧力にさらされている。

〔白板〕全メーカーとも年内需要期は終わり、年末にかけて手じまいの様相。年明けは各メーカー減産及びSDにより生産は鈍足になるとみられる。

●その他：定例会終了後、上野・翠鳳にて忘年会を開催した。

次回の三紙会は 定例会【1月20日（月）15時30分～】

- 裾物三品仕入平均単価報告
- ブロック別仕入平均単価報告
- 各委員会活動報告

令和6年度 1月 定例会

日 時：令和7年1月20日（月）
 15時30分～17時00分
 場 所：関東製紙原料直納商工組合 会議室
 幹 事：坂田 直亮・(株)坪野谷紙業
 富澤 進一・(株)富澤
 報告者：川嶋 秀明・(株)ナコジ
 出席社：15社

【令和6年12月

裾物主要三品仕入実績報告（32社）】

〔段ボール〕 前月比 110.5% 前年比 99.8%
 〔新聞〕 前月比 108.6% 前年比 97.8%
 〔雑誌〕 前月比 115.5% 前年比 97.2%

【ブロック別仕入平均単価報告】

○各地区平均単価：段ボール…10.33円、新聞…
 13.46円、雑誌…5.15円

【各委員会活動報告】

●業務委員会：

(1) パルプ市況報告 (12 月積み対日価格)

[NBKP] \$ 価格 900 前月比 + \$ 20

[LBKP] \$ 価格 605 ~ 655 前月比 - \$ 10

〈NBKP〉針葉樹パルプサプライヤーは、追加の生産調整を計画の影響もあり、広葉樹パルプの状況とは異なり、高価格帯にて推移。そのため、中国の製紙メーカーによっては、コストを下げるために針葉樹パルプの使用比率を下げており、今後この動きが定着した場合、針葉樹パルプの需要が減少する可能性も指摘されている。

〈LBKP〉広葉樹パルプは、南米や中国を中心とした大型パルプマシンの増設に伴い、供給過剰な傾向が続く。さらに、需要低調な状況が続いていることもあり、需給は買い手有利な状況。そのため、中国では多くのユーザーが静観し、購買には引き続き消極的な姿勢。

(2) 上物市況報告

[全体の状況] 紙・板紙の出荷量は 2024 年 7 月、23 ヶ月ぶりに前年を上回ったが、その後は一進一退が続く。品目別の出荷動向もまちまちで、11 月は菓子箱などに使う白板紙、紙袋に使う包装用紙などは前年同月を上回る一方、段ボール原紙や塗工紙などは苦戦した。

[家庭紙] 年末年始の生産はメーカーによって玉虫色であったが、全体的には低調。インフレによる割高感が強く、買い控えが災害備蓄やインバウンドの需要を上回っている様にも感じる。資材費・人件費・物流費などの値上げにより、パルプ物が先行して製品値上げを打ち出す様子が伺える。古紙は年末年始受け入れをしたため逼迫感はないが、引き合いは強い。

[白板] 1 月は大手メーカー S D により、年末までの引き合いは一服。古紙に関しては、年明け印刷製本の立ち上がりが遅く発生の落ち込みがあるため、備蓄意識が高い。2 月から更にタイト感が増すと推測する。

●研究委員会：12 月新聞・チラシ重量調査結果報告

次の三紙会は【2 月 26 日 (水) 15 時 30 分～】とする。活動内容の予定は以下の通り。

○裾物三品仕入実績報告

○ブロック別仕入平均単価報告

○各委員会報告

令和 6 年度 2 月 定例会

日 時：令和 7 年 2 月 26 日 (水)

15 時 30 分～17 時 00 分

場 所：関東製紙原料直納商工組合 会議室

幹 事：川嶋 秀明・(株)ナコジ

金井 大輔・(株)藤川紙業

報告者：金井 大輔・(株)藤川紙業

出席社：19 社

【令和 7 年 1 月

裾物主要三品仕入実績報告 (32 社)】

[段ボール] 前月比 87.4% 前年比 102.9%

[新 聞] 前月比 86.3% 前年比 93.8%

[雑 誌] 前月比 88.9% 前年比 98.9%

【ブロック別仕入平均単価報告】

○各地区平均単価：段ボール…10.51 円、新聞…13.72 円、雑誌…5.41 円

【各委員会活動報告】

●業務委員会：

(1) パルプ市況報告 (1 月積み対日価格)

[NBKP] \$ 価格 910 前月比 + \$ 10

[LBKP] \$ 価格 605 ~ 675 前月比 + \$ 20

〈NBKP〉北欧・カナダの針葉樹パルプメーカーは、原料のチップ調達懸念などにより供給面において厳しい状況が続くが、足元では広葉樹パルプよりも値上げ幅は限定的。

〈LBKP〉広葉樹パルプは、中国市場において需要面では比較的低水準のパルプ在庫を旧正月後に積み増す動きがあった。また、晨鳴紙業の資金繰りが悪化したことから全生産能力の 7 割以上が操業停止になったことを受け、シ

エア拡大の好機と捉えた競合他社が、紙・板紙の生産を増やしている可能性が考えられる。一方、供給面では1～3月は南米サプライヤーから供給量の減少が見込まれているが、中国経済の弱さは懸念されており、ユーザーがどの程度継続的に値上げを受け入れるかについては依然として不透明感が漂う。

(2) 上物古紙市況報告

[全体の状況] 1月の紙・板紙の出荷状況は、アルコール飲料の4月値上げ前の前倒し需要などの影響で段ボール原紙が増加。ネット通販などで使われる包装用紙も増加した。印刷向けではイベント関連の販促物などが不振。長期的に減少傾向が続いているが、下げ幅は小さくなっており期待が持てるとの声もある。

[家庭紙] 4月からの製品値上げのアナウンスによる仮需はまだ起きていない様子。インフレによる買い控えの影響が強く、値上げが通るかも不明。値上げが期ズレになる可能性もあり、仮需のタイミングも読みづらい。古紙発生は引き続き悪く、他の紙製品の状況にも左右されるため、各社調達が難しい状況。

[白板] 2月はSDやトラブルにより、生産は不調。3月から巡航速度に戻る予定。古紙の発生は低位で余剰感はないため、家庭紙の状況によっては逼迫する可能性あり。

○製品市況・トピックス

- ・新聞用紙の国内出荷は前年同月比7.8%減(44

ヵ月連続の減少)

- ・印刷情報用紙の国内出荷は同1.4%減(2ヵ月連続の減少)
- ・衛生用紙の国内出荷は同3～9%増(4ヵ月連続の増加)
- ・段ボール原紙の国内出荷は同2.6%増(3ヵ月ぶりの増加) ※輸出は5.3%増で4ヵ月ぶりの増加。
- ・白板紙の国内出荷は同0.5%の減(2ヵ月連続の減少) ※輸出は6.3%増で3ヵ月ぶりの増加。
- ・包装用紙の国内出荷は同4.8%の増(2ヵ月ぶりの増加)

●研究委員会：3月新聞・チラシ重量調査の協力依頼

●財務委員会：季節変動係数算出資料の提出依頼

●その他：①リチウム・バッテリーの混入による被害状況報告並びに注意喚起
②三紙会総会(4月13日～14日)の行程表配布

次回の三紙会は【3月24日(月)15時30分～】とする。活動内容の予定は以下の通り。

- 裾物三品仕入実績報告
- ブロック別仕入平均単価報告
- 各委員会報告





寄稿／(株)紙業タイムス社

関東製紙原料直納商工組合（以下、「関東商組」）は去る1月16日、東京・荒川区のアートホテル日暮里で新年賀詞交歓会を開催した。昨年に引き続き懇親会を含む通常開催となり、前年は能登半島地震の影響で自粛となった乾杯も行われた。

当日は来賓として、各界・各団体の代表ら約30名ほど招かれた。資源リサイクル推進議員連盟から田中和徳・会長（衆議院議員）松原仁・事務局長（衆議院議員）井上信治・副幹事長（衆議院議員）葉梨康弘・副幹事長（衆議院議員）ほか、経産省製造産業局素材産業課から土屋博史課長ほか、さらに日本製紙連合会、古紙再生促進センター、東京都中小企業団体中央会など、関連団体の代表が一堂に会した。

＊

式次第は開会の辞に始まり、理事長挨拶、来賓祝辞、来賓紹介と続いて懇親会に移行、歓談が続く中、中締め、閉会の辞で締めくくられた。



〔司会〕栗原 護
副理事長（栗原紙材）



〔開会の辞〕近藤 豊
副理事長（ブシュー）

司会進行は栗原護副理事長（栗原紙材）。

以下、各氏の挨拶要旨を紹介する。

〔司会〕栗原 護 / 副理事長（栗原紙材）

本日の司会を務めさせていただきます。何分、不慣れなもので、行き届かない点多々あるでしょうが、皆様のご協力をいただきながら、実り多い賀詞交歓会にしたいと思います。

＊

〔開会の辞〕近藤 豊 / 副理事長(ブシュー)

旧年中は組合活動に対して、皆様方の多大なるご支援ご協力をいただき、誠にありがとうございました。今年はまたさらに、われわれの業界を取り巻く環境が厳しいと思われませんが、引き続き皆様のご支援ご協力を賜りながら協調体制でいきましょう。それでは、ただ今より関東製紙原料直納商工組合の新年賀詞交歓会を開催します。お時間の許す限り、ごゆっくり楽しんでください。

*

〔理事長挨拶〕藤川 達郎 / 理事長(藤川紙業)

昨年1年間、日本国内の古紙市況は国際市況に影響されながらも比較的安定していました。しかしながら24年1月～10月の古紙回収量は前年比△1.9%の1,217万tにとどまっています。

今年は、1月20日に正式就任するトランプ大統領の関税政策によっては世界経済が非常に不透明感を増し、予測不能な事態も起こり得るでしょう。私ども古紙業界も数年来続く発生量の減少、労働力不足問題に直面するほか、賃金上昇、燃料費の高騰など、業界を取り巻く課題が山積しています。

こうした中で関東商組は昨年、労働力不足問題に関してアンケート調査を実施しました。それによると1都6県で、休日に荷受けを行っていない営業所が実に4割を超えていたのです。休日問題には地域ごとの事情もありましょうが、この結果を踏まえ、今年の3月までに方向性を出してもらうこととしています。取扱量、労働力ともに減少しつつある厳しい環境だが、次の世代へ繋ぐために業界の働き方を変えていく必要があります。

製紙業界、回収業界、行政、そして古紙再生促進センターさんの相談・協力も仰ぎながら、諸問題に対して一步一步、取組みを進めていきますので一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



〔理事長挨拶〕藤川 達郎
理事長(藤川紙業)



〔来賓祝辞〕田中和徳
衆議院議員、資源リサイクル
推進議員連盟 会長

*

〔来賓祝辞〕田中和徳 / 衆議院議員、資源リサイクル推進議員連盟 会長

長年にわたり資源リサイクル議連の活動を続けてた関係で、このたび会長に就任することになりました。よろしくお願い申し上げます。

人類が発明した素晴らしいものに紙がありますが、昨今はペーパーレスというのが社会的な流れになっているようです。それはやはりデジタル化の流れが影響しており、私は集合住宅に住んでいますが、毎朝、新聞配達をする人の様子を見ていると、新聞を購読している世帯が幾らもありません。昔、私たちが若い頃は、アパートに住んでいる世帯でも大半が日刊紙を読んでいた。そのほか週刊誌や月刊誌の発行部数も大きく減っています。

そうした逆境下ではあるけれど、古紙をうまくリサイクルしていくことは私たちの生活習慣の中で非常に大切なことだと思うのです。全体として回収量が減っていくなど厳しい状況ではありますが、私たちは皆様方から多くのご要望をいただきながら、議員としてしっかりサポートできるように研究・努力を重ねていく所存です。

*

〔来賓祝辞〕土屋博史 / 経済産業省製造産業局素材産業課 課長

紙・板紙製品の主要原料である古紙の安定供



〔来賓祝辞〕 土屋博史
経済産業省製造産業局素
材産業課 課長

給は、豊かな国民生活と経済社会にとって、なくてはならない大変重要なものと考えています。皆様が古紙の再生利用と製紙原料の安定確保を通じ、日頃より資源循環型社会の確立に大きく貢献されていることに厚く御礼を申し上げます。

わが国が直面している少子高齢化、AIをはじめとするデジタル化、人手不足、円安、環境問題など多くの課題に対しても、業界の皆様は一つひとつ真摯に前向きに取り組まれていることと思います。そうした中、国内経済にも少しずつプラスの兆候が現れてきています。昨年の賃上げは30年ぶりの高水準、また設備投資額は100兆円規模、さらに株価は史上最高水準を記録しました。

一方、足元では物価高を背景に消費が力強さを欠いている面もあります。プラスの要素を経済の好循環にどのように繋げていけるか、今年は正念場の1年と言えます。われわれも田中先生、松原先生、葉梨先生をはじめリサイクル議連の皆様のご指導をいただきながら、しっかりと取り組んでいく所存です。

とりわけ物価高の中にあっては、コスト上昇分の価格転嫁も大事なテーマの一つとなります。価格転嫁は安定供給を担保するための不可欠の条件であり、それ自体も大きな価値と言えるでしょう。

昨年の末には政府の総合経済対策がまとまりました。正式名称は「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」であり、「すべての世代の現在・将来の賃金・所得を増やす」ことを目標に掲げています。総事業規模は39兆円。今年は諸先生方のご指導ご助力を仰ぎながら、これらの対策を着実に実行に移していければと考えています。

さらに今年4月に開幕する大阪・関西万博は、すでに皆様が実践されているサーキュラーエコノミーを重要なテーマの一つとしています。海外からも300万人ほどの来場が見込まれており、皆様方のビジネスチャンスに繋がる場面もあるかと思います。ぜひ多くの方にチケットをお買い上げいただき、会場へ足をお運びいただければ幸いです。

*

〔来賓祝辞〕 昇塚清謙 / 古紙再生促進センター関東地区委員長

今年は巳年であり、脱皮をする蛇のイメージから「復活と再生」を意味します。転じて、植物に種子ができ始める時期、次の生命が誕生する時期など、新しいことが始まる年になるとも言われているようです。ひいては変化に対応してきた、これまでの努力や準備が結実するような年になっていくと聞いています。

一方で、古紙業界を取り巻く環境をみると、新聞古紙を中心に発生量が減少している状況です。ただ一方で、脱プラスチック、あるいはSDGsのような枠組みで環境貢献をしたいという企業も増えているようです。また市民の方々の間でも循環型社会、サーキュラーエコノミーに対する関心が高まりつつあり、当センターが行っている集団回収の表彰式、あるいは紙リサイクルコンテストなどを見ても、市民の方々による古紙リサイクルの取り組みは今後も広がって製紙・原料両業界の支えになるだろうと感じています。

さて、関東商組は一昨年が60周年、それから当センターは昨年が50周年ということで、ともにこれまでの努力を改めて見直していく時期に入るかと思われます。古紙業界、製紙業界だけでなく、紙のユーザー、さらに消費者の方々を含めて循環の輪を築いていきたいと願っています。さらに、その循環の輪を次の世代に繋げることが当センターの役割ではないかと考えます。そして、そのためにも製紙・古紙両業界の協力



〔来賓祝辞〕 昇塚清謙
古紙再生促進センター
関東地区委員長



〔来賓祝辞〕 松原 仁
衆議院議員、資源リサイクル
推進議員連盟 事務局長



〔来賓紹介〕 斎藤大介
副理事長（斎藤英次商店）



〔乾杯発声〕 大久保信隆
全原連理事長（大久保）

体制は今後さらに重要になるので、古紙再生促進センターという場を通じて力を合わせていく存念です。

＊

〔来賓祝辞〕 松原 仁 / 衆議院議員、資源リサイクル推進議員連盟 事務局長

資源リサイクル推進議員連盟では長年、甘利明先生が会長を務めてこられました。このほど新会長に田中和徳先生をお迎えすることになりました。甘利先生は引き続き連盟の最高顧問として、ご指導をいただきます。

何はともあれ、業界にとって一番大事なのは団結です。多くの課題があることは承知していますが、それらの課題を解決するためにも、皆様方が団結して行動されることを祈念します。

＊

〔乾杯発声〕 大久保信隆 / 全国製紙原料商工組合連合会 理事長（大久保）

先ほど藤川理事長が、古紙の回収量が大きく減っているという話をされました。紙・板紙の内需も今年は4年連続のマイナスが想定されているようです。

しかし、せっかくの新年会ですから、私としてはもう少し場を明るくしたい。デジタル化の進展で紙の需要が減っていくのは確かですが、一方でIT先進国のスウェーデンなどでは、タブレットよりも紙の教材を使う方が生徒の成績は良くなるという結果から、再び紙に戻す傾向

があるようです。スウェーデンに限らず、今後は世界中でそういう動きが起こってくるに違いないと私は確信しています。

われわれは昔から、サーキュラーエコノミーの実践者です。古紙を集めてリサイクルしてもらうことによって、日本の社会をクリーンにする、きれいにする仕事です。われわれが古紙を回収することによってゴミのない街、クリーンな街が出来上がるんだという誇りをもって、今年も頑張りましょう。

＊

〔中締め〕 朝倉行彦 / 副理事長（國光）



〔中締め〕 朝倉行彦
副理事長（國光）

昨年は元旦に能登半島を襲った地震の影響から、やむを得ないこととはいえ本席での乾杯などがなく、若干寂しい気持ちでしたが、今年は大勢の皆様とともに交歓会を楽しむことができ何よりだったと思います。先ほど全原連の大久保理事長が、「新年なんだから、もう少し明るい話題を」ということでスウェーデンの例を出されましたが、われわれには嬉しい話でした。

2025年もまた、いろいろな課題に取り組まなければなりません。苦しいとか大変とか、そん

なのは当たり前です。元気に明るく頑張って、2025 年が皆様にとって一番よい年になるよう三本目締めをお願い致します。

＊

〔閉会の辞〕新井重樹 / 副理事長(新井商店)

本日はご来賓の皆様をはじめ、多くの関係者の方々、また組合員の皆様に多数お集まりいただき、ありがとうございました。本年は巳年で、ヘビは金運や繁栄をもたらす縁起物として古くから認識されています。また巳には「新しく産まれてくる」、「将来・未来がある」といった意味もあり、これはヘビが定期的に脱皮を繰り返すことに由来し、生命力や再生、変化と進化の

象徴とされているからだと思います。

その意味で今年は多くの皆様にとって、新たな門出になる年にしたいなという希望を持っています。今年もまた1人ひとりの力で、組合活動を盛り上げていただきたいと思います。ありがとうございました。



〔閉会の辞〕新井重樹
副理事長(新井商店)

新聞雑誌選別、さらに革新。

紐切装置付選別コンベヤーライン

ヤードスペースに合わせ、自由にレイアウト。

営業品目

- 各種破袋装置
- 古紙梱包機投入用コンベヤー
- 空カン・空ビン選別コンベヤーライン
- 各種シュレッダー投入用コンベヤー
- 再生資源産業用各種コンベヤー
- 各種省力機械設計・制作



株式会社 拓己技研

〒444-0937 愛知県岡崎市島坂町字川田5番地3
TEL (0564) 64-3692 FAX (0564) 64-3693

デジタルロードセル式トラックスケール

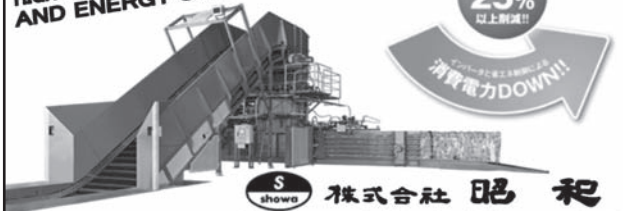
高精度・低価格・短納期 5t～100t 各種計量管理システム

鎌長製衡株式会社

<http://www.kamacho.co.jp>

本社・工場	TEL(087)845-1111(代)	FAX(087)845-7442
東京支店	TEL(03)3243-2080(代)	FAX(03)3243-2081
大阪支店	TEL(06)6339-0131(代)	FAX(06)6339-0139
名古屋支店	TEL(052)586-1451(代)	FAX(052)586-1467
九州支店	TEL(092)281-5328(代)	FAX(092)281-3822
中四国支店	TEL(087)845-1140(代)	FAX(087)845-7442

省エネペーラー誕生
SW770 HEシリーズ
HIGH SPEED, HIGH PRESSURE
AND ENERGY SAVING



株式会社 昭和
本社 〒134-0091 東京都江戸川区船場2丁目23番21号
<http://www.showa-press.co.jp> 電話 03-3689-0303



WorkVision
Creating Value for The Future

お問い合わせ先
ビジネスソリューション営業第一部
営業担当：柿崎 真樹
TEL: 03-4233-0945 FAX: 03-5463-1138
*旧社名 東芝ソリューション販売株式会社
2019年7月1日より社名変更となりました。

システムは「所有」から「利用」へ！

リサイクルシステム
クラウド版リリース

シンプルで
即戦力！

セキュリティと
災害に強い！

サーバ購入
・管理不要！



全国製紙原料商工組合連合会 新年会

持続的にクリーンな街をつくり、
サーキュラーエコノミーで頑張ろう

寄稿／(株)紙業タイムス社

全国製紙原料商工組合連合会は1月23日、東京・台東区の浅草ビューホテルで新年会を開催した。

冒頭、開会の辞を石川喜一郎 副理事長（中部商組：石川マテリアル）が述べた後、大久保信隆 理事長（関東商組：大久保）が挨拶。その後、来賓を代表して資源リサイクル推進議員連盟の松原仁 事務局長（衆議院議員）、経済産業省製造産業局素材産業課の土屋博史 課長、日本製紙連合会の野沢徹 会長（日本製紙）らが登壇し、それぞれ祝辞を述べた。続いて乾杯の発声を古紙再生促進センターの長谷川一郎 代表理事（レンゴー）が行い、自由歓談に移行。

宴たけなわの中、中締めは岩渕慶太 副理事長（九州商組：イワフチ）、閉会の辞は藤川達郎 副理事長（関東商組：藤川紙業）が述べ、和やかなうちに新年会を終了した。

以下、各氏の発言をピックアップする。

*

〔開会の辞〕石川 喜一郎 副理事長

（中部商組／石川マテリアル）

6%の賃上げで日本経済に貢献できるような古紙業界に



〔開会の辞〕石川 喜一郎
副理事長

今年の干支は乙巳で、蛇のように脱皮して再生・復活を遂げる変革の年と言われているが、古紙業界も今までの商慣習から脱皮しなければ

いけないかなと思っている。

また紙類は税金を使うことなく80%を回収し再生しており、今風の言い方をすると、サーキュラーエコノミーを80%実現している。つまり持続可能な社会の実現に大きく寄与している産業だ。この点をもっとPRして、紙は環境に良いというイメージを確立・復活させたいと考えている。

今は業界のイメージを良くしないと、人も来ない。またイメージの向上と同時に従業員の賃金を引き上げて、労務費のアップ分を販売価格に転嫁していく必要がある。中小企業こそ価格転嫁をなさないと政府も言っている。

古紙業界としては価格転嫁と併せて、利幅を広げる努力が求められている。それによって労働条件を改善し、優秀な人材が来るような業界に変革していくことが課題ではないかなと感じている。賃上げの率としては6%、ちょっと難しいかもしれないけど、6%の賃上げで日本経済に貢献できるような業界にしたい。本日は国会議員の先生方も大勢見えているので、ぜひそうした面でもご支援をよろしくお願い申し上げる。

*

〔理事長挨拶〕 大久保 信隆 理事長
(関東商組／大久保)

われわれの仕事は、売上金額や数量で価値が決まるわけではない



「たとえ量が減っても下を向かず、皆で工夫し考えて、今年は適正利潤を生み出そう」と挨拶する大久保信隆理事長

去年は元旦から能登半島地震で大変な幕開けとなった。今年は穏やかな正月だったが、13日の日向沖地震は南海トラフかと驚かされた。大雪や大雨の自然災害にも備えなければいけないと改めて感じた次第だ。

再登板したトランプ大統領によって、世界の政治と経済が揺れ動く年を迎えた。われわれの業界はどうなるのか。先日、紙・板紙の内需見通しは4年連続で減少すると製紙連合会の発表があった。また、それより少し前、某紙の「段ボール製品の市況を読む」記事の中で、「回収・再利用が確立している古紙業界は今後、市場縮小によって古紙問屋などの経営が悪化する」と書かれて、非常に暗い気持ちになってしまった。

せっかくの新年なのに何か力強い話はないかと悩んだ。そんな矢先、佐々木朗希投手がMLB移籍に際し競合した8球団に対して、「年々平均球速が落ちるのをどう見るか」と質問し、返ってきた回答を分析したうえでドジャースへの入団を決めた。「今後、球速は落ちるのに大金で契約した」という記事を読んで、ヒントはこれだ！われわれの仕事は、売上金額や数量で価値が決まるわけではないぞと思った。

循環型商売で紙類を綺麗に片付けて回収し、選別・分類を経て、まとめて梱包、配送するという仕事を通じて「利」が生み出される。たとえ量が減っても下を向かず、皆で工夫し考えて、今年は適正利潤を生み出そう。そのためには、製紙会社との二人三脚で需給バランスをとることが大事だ。

今年も持続的にクリーンな街をつくり、サーキュラーエコノミーで頑張りましょう。本日は新年会、大いに楽しく、大相撲の横綱は誰になるのか、大谷選手の投げるのはいつか、など和やかに語って今宵を過ごしてください。

*

〔来賓祝辞〕 資源リサイクル推進議員連盟
松原 仁 事務局長（衆議院議員）

強固な団結力で時代の最先端を行く産業に



〔来賓祝辞〕 松原 仁
衆議院議員（資源リサイ
クル推進議連・事務局長）

本来であれば、リサイクル議連の新会長に就任された田中和徳氏が挨拶される予定だが、少し遅れているようなので、とりあえず私が代わりにご挨拶をさせていただく。リサイクル議連はこの間、古紙持ち去り撲滅に向けた議員立法を作るべく、メンバーが力を合わせてきた。古紙業界のために汗を流すことが、われわれの仕事だと考えている。

先ほど大久保理事長が話されたように、業界は常にさまざまな課題を抱えている。私はリサイクル議連の事務局長として、業界の皆様から要望のあった事柄については極力、実現していきたいと思っている。とりわけ今一番の問題である古紙持ち去りについては、議連の葉梨副幹事長が活躍されている。

なお議連では、甘利明先生が長年にわたり会長を務めてこられたが、先生が衆議院議員を続けないという決断をされたため、後任として田中和徳先生が会長に就任された次第である。しかし甘利先生は引き続き最高顧問としてリサイクル議連の会合には必ず出席をするとの意向を示されており、心強い限りだ。

古紙業界は、わが国リサイクル産業の推進役として常に時代の最先端を行く素晴らしい実績を

上げている。その大きな原動力は皆様方の団結にあると私は思っている。業界の皆さんと長年にわたりお付き合いをしているが、これだけ団結力のある業界は他にない。今後も製紙メーカーも含めた強固な団結力で互いに助け合い、業界がさらに発展されていくことを祈念して私からの挨拶とします。

*

〔来賓祝辞〕 経済産業省 製造産業局
素材産業課 土屋 博史 課長

価格転嫁を含めた安定供給は重要なテーマ



〔来賓祝辞〕 土屋 博史
経済産業省 製造産業局
素材産業課 課長

紙は日常生活に不可欠の存在であり、豊かな社会を支えていることは私が申し上げるまでもない。そして古紙業界の皆様は優れた選別を通じて良質な製紙原料を安定供給されており、まさに資源循環社会、サーキュラーエコノミー社会を支えていただいている。

日本は今、大きな構造転換の時代を迎えている。具体的には少子高齢化や人手不足、AIを含めたデジタル化の加速、環境対策などが挙げられるが、一方で昨年は株価の上昇、投資の拡大など前向きな数字も幾つか出てきた。ただし足下の物価高で消費に力強さが欠けていたり、また賃上げにしても地域や業態によってバラツキがあるなど課題も多い。その意味で本年は、経済の前向きな兆候をいかに確実な流れにしていかが問われている。とりわけ先ほども話に出

ていたが、価格転嫁を含めた安定供給は重要なテーマだと考えている。

さて、本年4月13日より大阪の地で万博が始まる。2005年の愛・地球博以来20年ぶりに日本で開催される一大イベントであり、テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。ここでもやはり、循環や環境がキーワードになっている。皆様もよろしければぜひ会場に足を運び、万博を盛り上げるとともにビジネスのヒントなどを見つけていただければと思う。

＊

〔来賓祝辞〕 日本製紙連合会

野沢 徹 会長（日本製紙）

サーキュラーエコノミーな産業であることを積極的にアピールしていく



〔来賓祝辞〕 野沢 徹
日本製紙連合会 会長

全原連組合員の皆様には常日頃より古紙という重要な原料の安定供給を通じて、わが国製紙産業の発展に大きく貢献していただき、心より感謝申し上げます。

さて世界情勢は不透明で、トランプ政権における米国の動きを当面は注視する状況にある。国内では賃金、物価上昇の好循環をいかに作っていくか、金利が付く正常な経済状況にいかに戻していくかが大きなテーマになっている。新型コロナも落ち着いたことから、昨年の訪日外国人数は2019年を上回って過去最高を更新し、インバウンド需要は成長分野の一つとなっているし、また4月に開幕する大阪関西万博の経済

効果も期待されるところだ。

こうした状況の中、紙・板紙の需要動向はここ数年、厳しい状況に大きな変化がなく推移をしている。日本製紙連合会では1月20日に内需見通しを発表したが、2024年については当初見通しより若干よい結果であるものの、前年比で紙が△4.1%、板紙が△1.0%、合計△2.5%の減少となりそうだ。2025年は、内需主導の景気回復やインバウンド需要による好影響を期待するものの、前年比で紙が△6.5%、板紙が△0.7%、合計で△2.4%と厳しい状況を見込む。

中でもグラフィック用紙は2024年に△7.0%の減少、2025年は△6.3%の減少と見込んでおり、市場の縮小傾向に歯止めがかからない状況にある。こうした状況も踏まえまして、当連合会はここ数年、製紙産業の持続可能な発展をキーワードに掲げ、活動をしてきている。その持続可能な発展に何よりも欠かせないのが重要な製紙原料である古紙だが、紙・板紙の消費減少に伴い古紙の回収量も減少する傾向にある。そのため、想定外の事象が発生した際には古紙不足に陥る事態も考えられる。

古紙の需給や価格が急激に変動することは、持続的な産業活動にとって好ましくないばかりでなく、古紙リサイクルシステムの維持・強化を難しくするのではないかと懸念している。当連合会としては、国民生活に欠かせない安全安心な紙・板紙製品の安定供給を行うとともに、地球環境の保全と再生を図っていくうえでは高度な古紙リサイクルシステムをしっかりと維持していく必要があると考えている。

当会としては、紙・板紙の製造がいかに環境に優しい産業であるか、それは森林の育成から始まって古紙のリサイクル製品に至るまで炭素を固定し続けていくので、CO₂の排出削減という観点からしても非常にサーキュラーエコノミーな産業である——こういったことを今年は従来にも増して積極的にアピールしていきたいと思っており、ぜひご協力のほど、よろしくお願いしたい。引き続き原料業界とこうした問題意

識を共有し、一体となって取り組んでいく所存だ。これからも品質の良い古紙を安定して供給していただけるよう、改めてこの場を借りてお願い申し上げる。

*

〔乾杯の発声〕 古紙再生促進センター
長谷川 一郎 代表理事（レンゴー）

全原連の皆様とともに回収・利用の促進に
努めて半世紀



〔乾杯の発声〕 長谷川一郎
古紙再生促進センター
代表理事

古紙再生促進センター昨年、創立 50 周年を迎えた。この半世紀、当センターは全原連の皆様とともに古紙の回収・利用促進に努めてきた。お陰様で今日、わが国は世界に冠たる古紙回収率・利用率の先進国となっている。今後も環境に優しい古紙利用の促進を通じて、サーキュラーエコノミーの一翼を担っていく。

*

〔中締め〕 岩淵 慶太 副理事長
(九州商組／イワフチ)

奪い合う時代から分かち合う時代にして、しっかり利益をとって、健全経営をさせていければなと思っている。今年 5 月には九州で全原連の総会が開かれるので、ぜひ訪れていただきたい。基本は一泊かもしれないが、もし 2 泊、3 泊される方がいればきちんとアテンドしますので、よろしく願いたい。



〔中締め〕 岩淵 啓太
副理事長

*

〔閉会の辞〕 藤川 達郎 副理事長
(関東商組／藤川紙業)



〔閉会の辞〕 藤川達郎
副理事長

本日は来賓の皆様をはじめ、全国から全原連の組合員が参集して盛況のうちに会を終えることができた。これもひとえに皆様方のご協力のお陰と感謝していめる。これにて新年会をお開きとさせていただく。本日は誠にありがとうございました。





群馬県支部

(報告者) 株式会社海原 海原 健二

群馬県支部も会員不足で隣の埼玉県支部北部ブロックと合同で開催しました。

今回も依頼された記事を書くのを休もうと思っていたのですが、今回が最後になると思いますので力の限り筆を取るしだいです。余り活動はしていない支部ですが、ここ二、三年少しずつ会議と飲み会をつづけた結果、漸くうちとけて来た感があります。

いつも会議の設定の時、副支部長に世話をかけて申し訳ないと思っております。又、ここであらためて礼を言っておきたいです。群馬県支部も設立年度は歴史がありますが三年か五年もしないでうちにお休みしてしまえばらくつづいた様です。コロナ後支部活動が少しずつみかさんった様で歴史のわりには中身のない支部で御座居ました。

これから会員の団結によって盛り上げてってもらいたいです。

ちょっと余談になりますが、六十歳を過ぎたら自分の好きな事をした方が良いという人もいて、これは石橋をたたいて渡る人は時間がなくなってしまうので早めに実行してもらった方が良いと言うことだと思います。私も次の世代にバトンを引き継いで行きたいと思っています。

私の故郷であります館林市を紹介したいと思います。

館林市は徳川家康の頃、最初に着任した徳川四天王の一人、榊原康政公の土地でも有りました。江戸にも近く里沼も多く水に恵まれており、令和元年に日本遺産に登録されました。地元の人達は休日を利用して多々良沼に白鳥を見に出かけます。写真家の人も大勢いて夕日の写真スポットもあります。

多々良沼の近くに県立美術館が御座います。言いわすれましたが里沼記念としてサイクリングとキャンプファイヤーの出来る施設ができています、小さいお子さんのいる人なら一度はいいかもしれません。

群馬にいても知らない面が沢山有りますが会員の皆さんのますの発展を祈っております。



群馬県立近代美術館



多々良沼の風景



館林 つつじヶ丘公園

神奈川県支部

支部役員会・定例会

(兼 賀詞交歓会)

(報告者) 株式会社共益商会 中村 正実

神奈川県支部役員会を、令和7年1月28日17時より、炭火焼肉食道園（川崎市川崎区小川町）にて実施しました。

冒頭、金澤支部長より古紙市況の概況レクチャーと、為替や海外の経済トピックスなど古紙に影響のある経済情報のお話がありました。古紙市況というと身近な事象に囚われがちですが、金澤支部長の国際視点を交えたお話はいつもながら勉強になります。

その後、会計、共同輸出、燃料共同購入、等々各議題の報告及び検討が行われ会は順調に進行しました。更には、今後予定されている、各ブロック会、ゴルフ会、そして5月25日に予定される通常総会、今年の秋季研修旅行、等々に関して予算や段取りが話し合われ、大変充実した役員会となりました。

役員会に続いて行われた定例会もつつがなく各議事の審議・報告が終了しまして、いよいよ皆さんお待ちかねの賀詞交歓会へと突入です！！食道園さんの美味しい焼肉を頂きながらアルコールも入ったことで、参加者皆さん忌憚のない、あるいは無礼講な（笑）業界トークが展開され、大いに盛り上がっておりました。

古紙の発生減少という我々問屋にとって厳しい商売環境が続く今だからこそ、同業の皆さんと歩調を合わせ、連携してゆくための有意義な会合となりました。



金澤支部長より冒頭のご挨拶



食道園さんの炭火焼肉は大変美味でした



中村ブロック長より乾杯のご挨拶



追悼 須長利行氏



須長利行さんを偲んで

理事長
(元広報委員長) 藤川 達郎

3月10日に須長さんが亡くなられたとの一報をお聞きし、愕然としております。2月半ばに情報交換のメールのやり取りがあって、3月8日に緊急入院されたとのメールを頂いた中で、まさかこんなに早く逝かれてしまうとは！

几帳面な須長さんらしく関東地区委員会の後任までご指名されていました。

須長さんとのお付き合いは彼是30年以上になります。興亜工業株式会社様との取引の会や、丸紅紙業株式会社様の紅紙会等が始まりで、海外視察にもご一緒させて頂きました。

関東の広報委員長時代に須長さんと一緒に全原連30年史を編纂した際には、故大久保信之氏のインタビューに伺って「長生きしたものが最後には勝つんだ」と至極名言を頂いたのですが、あなたはこんなにも早く逝ってしまったのですね。

どうか彼方の世界に行っても、大好きなカメラで美しい風景を心置きなく撮ってください。ご冥福をお祈り申し上げます。

須長利行・前広報委員長を偲んで

渉外広報委員長 斎藤 大介

須長利行・前広報委員長のご逝去に際し、心より哀悼の意を表します。

須長さんは、広報誌づくりの基盤を築いてくださった方です。編集技術の基本を丁寧にご教授くださり、企画会議や編集会議の進め方、初校・二校・三校から校了・責了に至る校正プロセスまで、広報活動に必要な「型」をつくりあげてくださいました。

表紙写真は毎号、春夏秋冬に合わせて工夫され、自ら足を運び、多くの写真を集めてくださいました。

須長さんは、「広報とは単に情報を正確に伝える技術にとどまらず、編集者の意図と想いが込められるべきものである」と教えてくれました。誰に、何を、どのように伝えるか。その構成一つひとつに、広報を担う者の意思が、必要であることを、私たちは須長さんの姿勢から学びました。

その功績と人柄を、私たちは決して忘れません。心よりご冥福をお祈りいたします。

須長さん、本当にありがとうございました。

心からの敬意と感謝を込めて、どうぞ安らかに眠りください。

三紙会 TWEET 出会い

株式会社 坪野谷紙業

なお あき
坂田 直亮

この業界・会社に入って早6年ですが、毎日が出会いの連続で楽しい日々を過ごしております。幸いなことに、紙や古紙の業界以外にも様々な業界との交流をさせていただいております。

私生活においても、新たな「出会い」がありました。一昨年第一子である息子が生まれ、毎日すくすく過ごしております。

私はこの「出会い」を大切にして、決して

て状況が良くないこの業界を明るくして、新たな「出会い」に繋がられればと願っております。



株式会社 佐久間

ひとのぶ
佐久間 仁宣

出会いと言えば、やはり人との出会いや関わりということになるのだろうか。

様々な業界の方々とお会いする機会を頂戴し、今も新しい刺激を受ける毎日ではあるが、その度に、若かりし頃の自分はなんと清々しいほど無知だったのかと、改めて思い知る。同時に、「若気の至り」がどれほど大きな武器だったのかを痛感する。

今は数多のツールから情報が溢れかえっているが、これからも、情報を詰め込むことだけにとらわれず、思い立ったら行動を起こす、そんな気概に満ちた私でありたい。

また、そうした人財とこれからも出会いたい。

の
後
記編
集
人

特別金賞（全原連）受賞作品は
ポスター部門
「紙はリサイクルでよみガエル」

全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2024に、審査員として参加させていただきました。作品一つひとつに目を通す中で、あらためて実感したのは、「紙」という素材が、子どもたちにとっていかに身近で、かつ学びの入り口として優れているかということです。

紙リサイクルというテーマを通じて、地球環境への関心はもちろん、家庭、学校、地域社会とのつながり、さらには自分自身の成長について深く考える姿が作品から伝わってきました。

とくに印象的だったのは、リサイクル活動が学校や地域での“リーダーシップ”を育む場として機能している点です。自分から行動を起こし、仲間を巻き込み、活動の輪を広げていく。やがてそれが学校全体や地域の取り組みへと発展していく様子が、多くの作品に描かれていました。その原動力となっているのは、「自分たちの行動が社会に役立っている」という実感、そしてその価値を他者に伝えたいという思いです。

この「伝える力」こそが、作文やポスター制作の中核にあります。作文は、自分の考えや感じたことを言葉で“構造化”する行為です。物事を順序立てて考えることで、論理的思考の基礎が培われます。また、「な

ぜそう感じたのか」「なぜその行動をとったのか」と自らに問いかけながら書くことで、自己を客観的に見つめる視点が養われていきます。

さらに、他人に伝わるように書く技術は、将来にわたり必要とされるコミュニケーション力の土台になります。

一方、ポスター制作には、メッセージを構図と色彩で、簡潔かつ印象的に伝える力が求められます。目を引く構図や配色、視覚的な象徴性を工夫することで、観る人に訴えかける力を育てることができます。

また、紙リサイクルの現場をじっくり観察し、どのような行動が行われているのか、どんな工夫があるのかを見つける力も必要です。細部にまで注意を払い、集中して描くことは、子どもたちの気づく力を磨く貴重な機会となります。

このコンテストを通じて、私は強く感じました。子どもたちは、紙のリサイクルを通じて、人とつながり、社会に目を向け、自分の可能性を広げているのです。文字と絵、それぞれの表現を通して、未来を変える力が確かに育まれている。そんな希望に満ちた作品たちに出会えたことを、心から嬉しく思います。

特別金賞のひとつは、全国製紙原料商工組合連合会が選びます。私が選んだのは、ポスター部門作品「紙はリサイクルでよみガエル」です。大久保理事長に似ている、可愛いカエルです。

（編集人／斎藤大介）

全国小中学生 紙リサイクルコンテスト 2024

(主催 公益財団法人古紙再生促進センター)



文部科学大臣賞 作文部門

昭和女子大学附属昭和中学校 3年

柳田 真緒

紙を捨てる概念がなくなる日のために

「たったこれだけの紙だから、面倒臭いし、燃えるゴミに捨ててしまえば良いでしょ。」私は何度もこの言葉を耳にしたことがある。この言葉は私が学校の環境団体に活動している時、よく周りから聞く言葉だ。私は小学校三年生のときカナダへ旅行に行った。その時に初めて氷河を見て、地球温暖化による氷河融解の影響が身近に迫っている事を知り、環境問題に興味を持つようになった。現在、私は学校の環境団体の生徒や先生方の環境問題に対する意識を変えるために日々活動をしている。

今年の四月、私は学校で、各教室一つずつ設置してある紙資源専用のリサイクル箱が適切に使用されていない事を知った。また、大量のリサイクル可能な紙が燃えるゴミに捨てられ、リサイクルされていなかった。紙資源専用のリサイクル箱が適切に使用されなくなった背景に、引き継ぎが行われなかった事や主導する人が曖昧だった事が判明した。このままでは学校で紙資源がリサイクルされなくなってしまうと思った。もう一度、紙資源専用のリサイクル箱を、全校で使ってもらうための対策を立てるために考えた。

私は、常に活動を進められる委員会と協力する事で、私が卒業した後もこの活動を継続していけると考えた。委員会との協議の結果、「リサイクルアドバイザー」として、各学年に紙リサイクルを

主導する係を設置し、紙リサイクルを促進させる事に決まった。

現在、数ヶ月に渡って計画してきた計画の実行段階に入っている。今後も試行錯誤を続け、どんな事があっても揺るがない仕組みを構築させたい。そして今後、私の作った基盤を基に紙のリサイクルが何十年も先まで、我が校で続くことを願っている。

一人の生徒の小さな一歩が、一つの学校の多くの生徒の大きな一歩となる。その動きは他の学校にも広がり、より大きな一歩となる。そして、日本中でその動きが起れば、世界に影響を与えたいと思う。

私達は気候変動に対して行動できる最後の世代と言われている。長期的な目標を実現するために、私自身が他人を巻き込み、勇気を持って一歩を踏み出したい。最初の一歩は、誰も気づかない程小さな一歩だと感じる。強い意志を持って行えば、他の人に影響を与え、前向きな変化をもたらす事ができると思う。今後、何回も色々な人や問題の壁に突き当たる事があるだろう。だが、どんな時でも挫けず、仲間と共に、環境活動を積極的に進めたい。そして、全校生徒が紙リサイクルや他の環境活動に積極的に参加するようになる事を願っている。やがてその動きが広まり、日本中で紙を「捨てる」という概念を「捨てる」事ができる日が来る事を願って、これからも活動を続けたい。

全国小中学生 紙リサイクルコンテスト 2024

(主催 公益財団法人古紙再生促進センター)

全原連特別金賞

特別
金賞

アトリエENDO 6年

はまだ すずな
浜田 涼菜

紙はリサイクルでよみガエル

